

第1学年 英語科 学習指導案

日 時 2025 年 7 月 3 日
第5校時 13:30～14:20
対 象 第1学年 E 組 31 名
授業者 峯 和 佳 子
会 場 4 階 1 年 E 組

1 単元名

「Lesson3 My Treasure」…… NEW CROWN 1 三省堂

2 単元の目標



友だちや先生に自分のことを知ってもらうために、ものの特徴について、簡単な語句や文を用いて、事実などを正確に書くことができる。

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① be 動詞の肯定文・否定文の特徴やきまりを理解し、聞き取る、その文が書かれた内容を読み取る、書く、話す技能を身に付けている。 ② be 動詞の疑問文の特徴やきまり、What is this?の意味や働きを理解し、聞き取る、その文が書かれた内容を読み取る、書く、話す技能を身に付けている。 ③ Who is…?の意味や働きや、人称代名詞（目的格）の特徴やきまりを理解し、聞き取る、その文が書かれた内容を読み取る、書く、話す技能を身に付けている。	① 友だちや先生に自分のことを知ってもらうために、物の特徴について、簡単な語句や文を用いて、事実や自分の考えなどを正確に書いている。 ② ペアやグループでの表現活動で、適切に受け答えしている。	① 友だちや先生に自分のことを知ってもらうために、物の特徴について、簡単な語句や文を用いて、事実や自分の考えなどを正確に書こうとしている。 ② ペアやグループでの表現活動で、すすんで英語で表現しようとしている。

4 単元指導計画（全8時間扱い）

時	目 標	学 習 活 動	評 価
1	町の建物などを説明するときの be 動詞（三人称単数）を使った表現を学び、お気に入りの場所や店について伝え合う。	○本文の対話文の内容理解を通して、be 動詞（三人称単数）の特徴や使い方を確認する。 ○自分のお気に入りの場所や店について伝え合う。	イ - ②【ワークシート】
2	基本文で示された言語材料の特徴や決まりを理解する。	○be 動詞の特徴や使い方を理解する。	ア - ①【観察、学習確認シート】

3 	家にあるものを説明するときの be 動詞（三人称単数）を使った表現を学び、特徴を説明する。	○本文の対話文の内容理解を通して、be 動詞（三人称単数）を使った疑問文の特徴や使い方を確認する。 ○家にあるもの、学校にあるものについて質問し、伝え合う。	イ - ②【ワークシート】
4	基本文で示された言語材料の特徴や決まりを理解する。	○be 動詞の疑問文の特徴やきまりを確認する。	ア - ②【観察】
5	キャラクターを紹介するときの表現を学び、特徴を明確にして伝え合う。	○ペアで、好きなキャラクターについて伝え合う。	イ - ②【観察】
6	基本文で示された言語材料の特徴や決まりを理解する。	○who を使った疑問文の特徴やきまりを確認する。	ア - ②【定期考査】
7 本時 	自分のことを知ってもらうために、自分の宝物クイズを作成し、クイズを出し合う。	○宝物についてのクイズを作成する。 ○グループで質問を出し合う。	イ - ①【ノートへの記述】 ウ - ①【学習確認シート】 ウ - ②【観察】
8	be 動詞の特徴や決まりを理解する。	○be 動詞の使い方、be 動詞を含んだ文章の意味を確認する。	ア - ①②③ 【学習確認シート、ワークシート】

5 生徒が主体的に学び続けるための工夫（個別最適な学び）

- デジタル教科書を活用した、個別最適な学び
デジタル教科書を使い、個別で音読練習を行わせる。（音声の速度や英文、和訳の表示量を設定する）
自分のペースで繰り返し練習することができ、効率的に反復学習ができる。また、音声モデルを何度でも聴き、正しい発音・イントネーションを習得しやすいと考える。
- 個別で発表の原稿を作成、添削する。
生徒が自分のペースで英語表現を構築できる利点があると考え。また、誤りや課題に応じて、個別に適切なフィードバックができる。生徒の話したい想いや背景を教師が正しく理解するため、フィードバックは対面で行う。


6 本時の指導（全 8 時間中 7 時間目）

（1）本時の目標

- 自分のことを知ってもらうために、自分の宝物についてのクイズを作成し、クイズを出し合う。

（2）本時の展開

	○学習活動 ◎主体的に学び続けるための視点	□指導上の留意点 ◆評価
導入 10 分	○Song “Take Me Home, Country Roads” ○本時の目標を確認する。 ・宝物クイズを作成しよう ○学習確認シートに今日の目標を記入する。	□歌詞カードを見ながら歌う。音のつながりに注目させ、英語に親しむ。 □本時の目標を伝え、授業の見通しをもたせる。

<p>展開 35 分</p>	<p>○完成までの流れを確認する。</p>	<p>□生徒が作成するクイズの例として、教師がスライドを使って生徒に向けてクイズを行う。</p> <p>□ヒントの内容について、工夫されていることを気付かせる。気付いたことは、ワークシートに記述させる。</p> <p>例) 最初は形状を伝える。</p> <p>抽象的→具体的になるように伝える。</p> <p>□ヒントの文の中で、使われている文法を確認する</p> <p>□翻訳アプリは使わずに、教科書と辞書を使うことを伝える。</p>
<p></p>	<p>◎クイズを作成し、個人で練習を行う。</p> <p>①クイズを作成する。(3つヒントを考える)</p> <p>②先生のチェックを受ける。</p> <p>③個人で練習を行う。</p> <p>・タブレット端末の音声認識アプリを使って練習を行う。</p>	<p>□時間内に②まで終わった生徒に、little teacher として、まだ終わっていない生徒の手助けをしてもらう。</p> <p>□クイズはノートに記入させる。</p> <p>□ヒントの文章作成時、共通の間違ひは一旦作業を止めて、指示する。</p> <p>□②③の方法は、生徒が選択して取り組むよう伝える。</p> <p>□適宜、机間指導を行う。</p>
	<p>○クイズを出し合う</p> <p>・デモンストレーションをみて、クイズの進め方を確認する</p> <p>JTE: What is your treasure?</p> <p>Hint1. My treasure is big.</p> <p>HInt2. It is black and white.</p> <p>HInt3. I play music on it in my room.</p> <p>ALT: Is it an instrument?</p> <p>JTE. Yes, it is.</p> <p>ALT: Is it a piano?</p> <p>JTE: Yes, it is.</p> <p>○宝物クイズ活動を行う。</p> <p>・ヒントを出し終わっても、答えがわからなかった場合は、質問をする。</p>	<p>◆イー①【ノートへの記述】</p> <p>□クイズのあとに質問タイムを設けるため、デモンストレーションを見せ、質問の作り方を示す</p> <p>□班の形にして行わせるよう指示する</p> <p>□班活動のときに使う、質問や答え方を提示する。</p> <p>□教科書を開かせ、質問のしかたを参考にさせる。</p> <p>□適宜、机間指導を行う。</p> <p>◆ウー②【観察】</p> <p>□質問が作成できていない生徒は、次回までに完成させる。</p>
<p>まとめ 5 分</p>	<p>○振り返り</p> <p>・学習確認シートに記入する。</p>	<p>□学習確認シートを使って、目標が達成できたか確認させる。</p> <p>□今日の振り返り、次回の活動について伝える。</p> <p>◆ウー①【学習確認シート】</p>